昭和62年4月
4月号
No.179

公民館だより
ひょうたん

発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10—5
TEL　21—1476番

余暇利用の女性パワー
踊りに唄にお花

教室拝見

教室拝見第2弾は、婦人会民謡踊りと生花および中村民謡の三教室。いずれも家庭婦人の余暇を利用してのストレス解消や健康保持、情操を豊かにする女性道場である。

婦人会民謡踊り　昨年6月1日結成15周年の記念おさらい大会を開いた古い歴史をもつ。創設以来踊り続けている人は2～3人。会員総勢12～3人だが、指導に当たる高山外余子先生は、亡くなられた輪島先生についでの二人目。校下の文化祭、敬老会に必ず出演するほか、夏の「民謡踊りの夕べ」には校下の機関車役。民謡踊りのほかクラシックな「荒城の月」流行歌の「かくれ宿」など舞台踊りも特訓中。会費月2,000円、毎周火曜日午後7時半から2時間。新人の入会歓迎です。

生花教室　民謡踊り同様婦人会後援の修養講座。先生は草月流県支部の最高幹部土橋幽畔さんで、校下の文化祭はじめ百万石祭りの尾山神社献花、北国華道展への出品常連でもある。現在会員22人、けいこ日の火曜日夜6時になると、公民館の和室は一挙に明るくなる。チューリップ、桜、松、ねこやなぎ、白ゆりなど季節を先取りした花を思い思いの花器に生ける家庭婦人の姿は、一段とおしとやかにきれいに見える。会費月1,000円、ほかに花の材料費1回500円。

中村民謡　中村晴悦門下の高弟中村郁江さんを師匠に毎週水曜日の夜7時半から民謡の練習を続けている。57年4月落成した公民館の前は消防小屋、その前は北陸信用金庫彦三町支店でも練習していたというからかなり古い。会員12人で孫をもついい年のご隠居さん(?)まじりの家族的集団だが、欲をいえばもう3～4人若手が入会してくれればと願っている。ことしこそ校下の敬老会や文化祭に積極的に出演する意欲を燃やしている。会費月2,500円。

村井館長ら４氏が受賞

市公民館大会で10年勤続

61年度の市公民館大会が３月１日㈰本多町県社会教育センターで約400人が参加して開かれ、「いま地域の中で公民館は？」をテーマに町会、学校、公民館相互、民間教育産業との関係を４分科会に別れて熱心に討議した。

この結果、相互の機能、役割を尊重しながら位置づけを明確にすべきだとの意見や、競合を避けて役割を段階的に系統づける協議会をつくるべきだなどの意見が出され注目された。

また、大会の席上10年以上役職を続けた校下の４氏が永年勤続の表彰を市公民館連合会長から受けた。

村井義明（公民館長・五宝町中２）村井伸（施設部長・塩屋町上）酒栄克博（青少年教育副部長・彦三４番丁）寺中昭二（前副館長・神奈川県移住）

◈ ひさご歩こう会の年間予定計画

ひさご歩こう会62年度の予定計画はつぎの通りです。いずれも日曜日朝。

●４月12日６時兼六園花見●５月３日６時卯辰山朝食会（たけのこ）●６月７日６時西念町中央卸売市場方面●７月５日９時千丈温泉●８月２日６時浅野本町下水処理場方面●９月６日６時鳴和町城北中央公園●10月４日６時出羽町方面●11月１日６時常盤町豊川稲荷大明神●12月６日７時大豆田大橋―新橋（朝ガユ会）●１月10日９時初顔合せ、八幡神社参拝●２月７日７時長田町方面●３月13日７時兼六園梅林。

◈ 児童館のなわとび大会

児童館主催のなわとび大会は、２月18日㈬午後３時から60人の子供たちが参加して行なわれた。

前とび、後とび、片足とび、あやとび、交差とび、二重とびの６種目が元気に行なわれ下記のみなさんが入賞した。

〈１年生〉１位 さくら田たづ子634回 ２位 川さきみほ598回 ３位 いなみきょう子491回 〈２年生〉１位 しばきのりゆき1,591回 ２位 村中まこと1,079回 ３位 大林あき子860回 〈３年生〉１位 千石ちか686回 ２位 高橋沙知606回 ３位 加藤みな子468回〈４年生〉１位 深田隆1,149回 ２位 法邑賢一1,116回 ３位 桧物正和1,014回。

◈ 仲よし少年団に中日あおい賞

瓢箪校下の仲よしスポーツ少年団（代表黒田大輔君）に中日新聞からこのほど「あおい賞」が贈られた。

あおい賞は、青少年の善行に対して中日新聞が贈るもので、仲よし少年団が昭和39年結成以来、男子はサッカー、女子はバスケットボールを毎週土曜日練習し、現在会員120人に達している。会員の多くは他のスポーツに参加するばかりでなく、しし舞などにも積極的に参加しており、青少年の健全育成への功績が認められたもの。なお一昨年、監督指導している若林繁氏（公民館青少年教育部長）が社会教育功労者として金沢市長賞を受けており、重ね重ねの喜びである。

◈ 消防会館建設費の決算報告

校下の消防小屋が皆さんの寄付により立派な消防会館となったが、このほど決算ができあがり報告いたします。ありがとうございました。

収入の部（円）		支出の部（円）	
市補助金	8,220,000	工事費	25,200,000
町連補助金	4,399,000	仮設・解体費	1,720,000
文化会館補助	200,000	設計監理料	1,000,000
寄付金	16,453,540	備品代	1,106,962
雑収入（利息ほか）	23,542	事務・通信印刷ほか	269,120
合計	29,296,082	合計	29,296,082

◈ ひとり暮らしの昼食会

民生委員協議会では、校下のひとり暮らしのお年寄に楽しく昼食を食べていただこうと３月13日㈮午前11時半から文化会館で昼食会を開いた。（久しぶりの会食を喜ぶお年寄）

参加したのは、65歳以上でひとり暮らしのお年寄と日頃お世話している民生委員ら総数約50人。朝からエプロン姿の婦人民生委員が腕をふるい、ニシン、とり肉、あさりなどの料理をおいしく楽しく話し合いながら食べた。

◈ １年生のつどい

ことし瓢箪町小学校に入学する子供たちは例年より少なく49人だが、児童館ではお祝いと早くお友だちになるよう、４月９日㈭午後２時から自己紹介とゲームのつどいを開く。

昭和62年5月
5月号
No.180
公民館だより
ひょうたん
発行　瓢簞町公民館
金沢市彦三町2丁目10－5
TEL　21－1476番

陶芸教室を6月開設
日帰り名所巡りも参加募集

公民館の本格的活動は、5月からはじまる。例年の年中行事のほか、ことしはとくに陶芸教室、大正琴教室をはじめる。また好評の日帰り名所巡り旅行も早目に予定しているので、希望者は5月15日までに公民館へ申し込んでほしい。

＜陶芸教室＞　お年寄のボケ防止には最高の妙薬で、粘土いじりから焼きあがりを楽しむ夢は格別。金沢陶器㈱の好意により月2回午前2時間指導してくれる。指導は岡田和子先生で月3,500円の受講料。材料は越前、信楽、九谷の三種類で、乾燥から釉薬、釜焼きまで同社持ち。勿論出来上がりの陶器は自分のもの。定員は11人なので急いで下さい。

開講日は6～7月と9～10月の第1、第3火曜日午前10時から。

＜日帰り名所巡り＞　ことしは目先を変えてデラックス観光バスで高岡・氷見方面へ行く。日曜日でなく5月28日㈭を予定している。

午前8時20分電報局前を出発、高岡銅器の製造工場を見学、北陸の名刹勝興寺、普化宗の虚無僧で知られる国泰寺、大伴家持に縁深い二上山の万葉ラインを楽しんで氷見の湖城ホテルで食事、入浴をすることにしている。会費3,500円で定員47人。

教室拝見

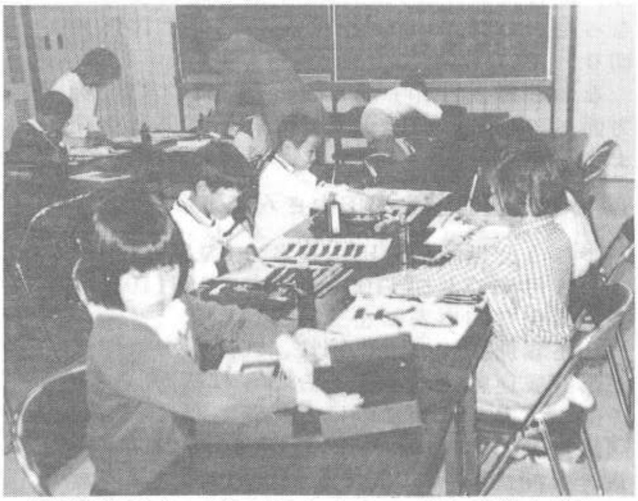
第3弾は、子供を中心とする習字、絵画教室、それに大人を対象とする書道、民謡、俳句のつどいである。

＜習字教室＞　今井福仙夫妻の習字教室は50人を超える盛況で、毎週木曜日午後2時から5時まで。小学校入学前後のエンピツのもち方から正しい字の書き方を習う幼児組から3段～4段の5・6年生まで。3～4年続ければ決して段位も至難ではないという。月謝2,500円。

＜絵画教室＞　金沢高校教諭の岩倉令峰先生の指導で10人余りが毎週土曜日午後1時から開設している。水墨も可。月謝 2,500円。

＜書道教室＞　津幡高校教諭の中山秋水先生指導の教室で現在5人。心画院会員で研究熱心の弟子ぞろい。全国の展覧会にも出品するだけあって書の芸術を追究している。毎週水曜日午後6時から。月謝2,500円。高校生以上なら誰でもと呼びかけている。

＜金城民謡教室＞　田中玉城先生を中心に毎週木曜日午後7時半から太鼓三味線入りで全国各地の民謡に挑戦している。とくに見砂追分節が目玉。月謝2,000円。



（写真は正しい字の書き方にいどむ子供たち）

＜煎茶教室＞　毎週月曜日午後1時半から九野光昭先生の指導で皇風流の煎茶をたてている。月謝2,000円。

＜瀬尾民謡踊り教室＞　文部大臣賞の金賞銀賞獲得の実績をもつ瀬尾明美先生の指導で毎週土曜日午後2時から。月謝小人3,000円、大人3,500円。

＜ひさご句会＞　毎月18日の午後6時から泉紫像先生の指導で句作に励んでいる。会費500円。

5月3日㈰歩こう会向山たけのこ朝食会

最優秀賞に藤村貴夫君

第2回(しし舞)棒ふり競演会

児童による伝統行事発表会の第2回児童しし舞棒ふり競演大会は、3月21日㈷午後1時から市文化ホールのヒノキ舞台で30チーム（6団体）が参加して開かれたが、瓢簞町校下しし舞保存会から8チームが出演、うち藤村貴夫君が小学校高学年の部で一昨年の第1回受賞に引続き最優秀賞に選ばれた。他の7組も元気いっぱい練習の成果を発揮し優良賞に選ばれた。また鼓笛隊13人のハヤシ出演も観衆の注目をあびた。

〈最優秀賞〉　藤村貴夫(大太刀)

〈優良賞〉　川崎美穂・千石智佳（三ツ剣)、藤田智志・疋田靖典・浦井克司(〃)近藤大輔・浦井建司(長刀)徳野裕昭・清水庸利（六尺棒)松島大輔(大太刀)藤村信夫・藤村隆(鎖鎌)黒田大輔・疋田和久(尺八)

◈ 歩こう会千丈温泉ゆきは8月に変更

さきに発表した7月5日㈰の千丈温泉ゆきは、都合により8月23日㈰午前9時に変更となった。会費4,000円で申込みは8月10日〆切り。

なお8月2日㈰午前6時浅野川下水処理場方面への歩こう会は、7月5日に変更となります。

◈ 歩こう会世話役の田中さんに知事賞

歩こう会世話役の田中良さん(塩屋町上)はこの3月末で参加110回となり、10月10日の健民大会で知事表彰を受ける。

また参加10回以上に銅賞、20回以上に銀賞が県健民運動推進本部から贈られるが、校下ではつぎの7人がこのほど受賞した。

〈銀賞〉　山村美代子(彦三7番丁)28回 **〈銅賞〉**　沖良枝(堀川間ノ町)18回山崎貞雄（彦三6番丁）17回上野久子(あげば会)14回北谷義友(塩屋町中)12回畑愛子(横安江町)12回久田兼三(岩根町下)10回

5月8日から「大正琴教室」開設

フジ音楽センターの指導で行うもので、5月8日から第2、第4金曜日午前10時から2時間。音楽を通じてストレス解消に役立つほか、指先の運動がボケ防止に効果がある。手軽に入手できる琴なので、家庭婦人もどうぞ。月謝2,500円のほか入会金1,000円、テキスト1,000円、本部納入年会費1,500円。定員はとくに制限ない。

◈ 日赤募金にご協力を！

毎年5月に行なっている日赤の社資募集はことしも近く各世帯に封筒が配付されます。

ごめんどうでも、各町会ごとにまとめて5月末までに公民館へ届けて下さい。

◈ 1年生です。よろしく！

児童館主催の〝新入学生のつどい〟は、4月9日午後2時から児童館遊戯室で賑やかに行なわれた。

参加したのは、小学校の入学式を終えたばかりのピカピカの1年生やく50人。もじもはにかんで名前をいうもの、元気いっぱい声をはりあげるもの、自己紹介を終えて球遊びをするころは、みんなすっかりお友だち。楽しいゲームに大喜びだった。

◈ 親子ハイキングは5月10日㈰

公民館、児童館、少連主催の恒例の親子ハイキングは、5月10㈰向山「うぐいす台」へ行く。申込みは5月7日〆切り。

午前8時半児童公園に集合、向山へ向うがメッタ汁のご馳走があるので、おわんのほか弁当、水筒、おやつを忘れないように。雨天のときは午前10時から体育館に変更する。

◈ 校下を花で美しく

緑を育て金沢を美しくする会(緑美会)の第8番目のモデル地区に指定されたわが校下は、4月19日午前9時半から文化会館前で緑美会から配付されたベゴニヤ1,000本の株苗とプランター100個、土と肥料を希望町会に分けた。

一昨年150個のプランターと花を格安で配分したが、ことしは無料で駅前（此花）—小橋間の大通りを中心に分配したもの。まだまだ大通りだけでもゆき渡らないので、ここ2～3年継続する必要があり、文化会館、公民館も積極的に協力する方針である。

◈ ほくしん杯ゲートボール大会は5月31日

北陸信用金庫彦三町支店主催の第5回ほくしん杯ゲートボール大会は、5月31日㈰午前8時半から小学校運動場で開く。

参加希望者は、5～6人編成で5月20日までに公民館へ申込んで下さい。参加料は1人200円。組合せ抽選は5月20日午前10時から公民館で。

5月10日㈰親子ハイキングは向山うぐいす台へ

昭和62年6月
6月号
No.181
公民館だより
ひょうたん
発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10—5
TEL　21—1476番

世代交代目立つ各種団体役員

瓢箪町校下の62年度各種団体役員（2・3面掲載）の改選は、岩本清氏の死去（4月15日）によって水面下で揺れに揺れたが、文化会館長を最後にこのほどようやく受け皿がきまった。

注目を集めた町会連合会長には中谷弘氏（五宝町上町会長）が決まったほか新人理事で発足、社会福祉協議会長に副会長の松本三郎氏（民生委員・岩根西部）が昇格するなど、全般的に世代交代が徐々に進んだのが特色。

町連会長に中谷弘氏（五宝上）

町会連合会の役員つぎの通り。
〈会長〉中谷弘（新・五宝上）〈副会長〉沖茂男（新・堀川間ノ町）大井尭（新・横安江町）〈会計〉福田孝三（新・塩屋下）〈理事〉中川政義（新・彦三2番丁下）広瀬昭（新・巴町）表信太郎（新・塩屋上）福岡重勝（新・岩根東）芝木善市（新・岩根西）〈監査〉岡田久夫（新・彦三2番丁上）今井義明（新・笠市町）〈常任相談役〉新幸造（前会長・彦三6番丁）〈相談役〉大崎喜早次（前理事・彦三8番丁）小槌重臣（前監査・岩根中）

62年度 公民館事業計画きまる

公民館の62年度事業日程が5月6日開かれた公民館委員総会で承認された。

ことしの特色は、陶芸教室が6、7、9、10月第1・3火曜日に行なわれるほか、11月1日(日)の文化祭幕開けにチャリティバザーがあり、記念バレーボール大会が11月3日(祝)朝から一日で試合を終えることにしている。また児童館のサマーキャンプが8月8～9日となったため「民謡踊りの夕べ」を1～2日にするか、検討の結果22・23日に。また秋の運動会が早く9月20日(日)に、敬老会が9月24日サニーランドへ行く。

〈6月〉 7日(日)中央ブロックソフト大会（美大グ）歩こう会（中央市場方面）9日23日(火)緑と花セミナー2日16日(火)陶芸教室16日(火)～19日(金)町会対抗バレー大会（抽選12日）20日21日（土日）中央ブロック理事研修28日(日)上期GB大会

〈7月〉 5日(日)歩こう会（浅野川下水処理場）7日21日(火)陶芸教室7日(火)七夕ファイヤー12日19日(日)町対抗ソフト大会19日(日)中央ブロックバドミントン大会（中央小）7日21日(火)緑と花セミナー

〈8月〉 8日9日（土日）児童館サマーキャンプ（卯辰山少林寺横）22・23日（土日）民謡踊りの夕べ　11日25日(火)緑と花のセミナー23日(日)歩こう会（千丈温泉）30日(日)第9回ママさんソフト大会

〈9月〉 6日(日)歩こう会（城北中央公園）8日22日(火)緑と花セミナー14日(月)お祭太鼓大会15日(祝)しし舞大会1日15日(火)陶芸教室20日(日)運動会（予備10月11日）24日(木)敬老会

〈10月〉 4日(日)歩こう会（出羽町方面）11日(日)運動会予備日　18日25日(日)市民バレー大会（総合体育館）6日20日(火)陶芸教室25日(日)児童館体力テスト13日27日(火)緑と花セミナー

〈11月〉 1日(日)～3日(祝)文化祭（バザー・作品展・芸能大会・模擬店・もちつき大会）1日(日)歩こう会（常盤町豊川稲荷大明神）3日(祝)町会対抗バレー大会15日(日)下期GB大会22日(日)親子卓球大会29日(日)校下バドミントン大会

〈12月〉 6日(日)歩こう会（新橋方面朝がゆ会）市民バドミントン大会（総合体育館）13日(日)年忘れ囲碁大会

〈1月〉 3日(日)新年互礼会10日(日)歩こう会（安江神社参拝、初顔合せ）旗源平大会15日(祝)成人式17日(日)かるた大会

〈2月〉 7日(日)歩こう会（長田方面）14日(日)立志式28日(日)市公民館大会

〈3月〉 13日(日)歩こう会（兼六園梅林）

体育館スポーツ開放日（午後6時～9時）
毎週　月曜日　バドミントン
　　　木曜日　バレーボール

昭和62年度 瓢箪町校下各種団体役員 （順不同）

◉各種団体長

町会連合会長	中谷　弘	防犯交通委員会長	西川善作
文化会館長		街頭交通推進隊長	福岡重勝
公民館長	村井義明	交通安全推進協議会長	高木外喜男
児童館長	小原英一	婦人会長	寺垣三和子
老人憩いの家室長	清水外喜男	少年連盟育成委員長	吉村　武
社会福祉協議会長	松本三郎	遺族会長	本多常男
小学校長	三谷久市	母子福祉会長	横山富子
育友会長	磯野洋明	身体障害者福祉協議会長	清水外喜男
消防分団長	村井義明	東部鶴亀会長	宮岸貞治
民生(児童)委員協議会総務	涌波秀博	南部鶴亀会長	三森俊一
		西部鶴亀会長	岡部時義

町名	町会長	公民館委員		
母衣町	御舘良昭	北村修吉(総)	久　和子(青)	
南睦会	山崎芳治	宮崎尚樹(広)		
北親会	安井史郎	安井史郎(総)		
彦三・2上	岡田久夫	多田憲一(成)	小森博信(施)	
彦三・2下	中川政義	津田正浩(青)		
彦三・3	筒井靖浩	村田とよ子(青)		
彦三・4	香村　忠	松田敏雄(成)	寺西弘吉(体)	
彦三・5上	越野利勝	若林　繁(青)	吉田三夫(広)	
彦三・5中	木越和雄	前玉郁次(広)		
彦三・5下	村上公照	田丸外志博(視)	浅川　滋(施)	
彦三・6	新　幸造	松原　弘(施)	西村隆夫(施)	
彦三・7	元　欣治	石丸幹夫(体)	吉村宏与(体)	
彦三・8	大崎喜早次	花尾好次(成)		
横安江町	大井　尭	斉田哲夫(青)		
巴町	広瀬　昭	金子紘一(成)		
象眼町上	樽矢清一	酒井徳久(青)	勝尾哲二(青)	
象眼町下	東　良秀	大友昭次(体)	石松龍司(青)	
笠市町	今井義明	八幡真一(青)	中川弘美(視)	
堀川間ノ町	沖　茂男	寺林昭彦(体)	近藤三朗(施)	
古餌指町	永野政義	笹島正一(成)		
五宝町上	中谷　弘		真田通夫(体)	
五宝町中1	塩谷貞夫	塩谷貞夫(施)	山嶋一江(成)	
五宝町中2	三井堅次	越村　勉(総)	山崎かほる(視)	
五宝町下	斎藤昭仁	片山　正(施)		
塩屋町上	表　信太郎		永井　昭(広)	
塩屋町中	盛永吉男	桶　良之助(成)	後川一洋(視)	小坂義雄(体
塩屋町下	福田孝三	宮坂　清(体)	松田秀明(施)	
岩根町東	福岡重勝	大村昭男(体)	中村正治(視)	
岩根町西	芝木善市	得能　繁(総)		
岩根町中	小槌重臣	竹内光子(総)	奥　久雄(広)	
岩根町下1	奥野昭二		今井政雄(成)	村上玲子(体
あげば会	岡田憲三	山本龍男(体)		
婦人会		寺垣三和子(総)	川瀬　節(成)	
〃		吉田尚子(青)	岡田悠基子(視)	
〃		池田洋子(広)	山内とし子(青)	

◈ 公民館運営審議委員

委員長　三谷　久市

委　員　中谷　弘　宮岸　敬治
松本　三郎　新　幸造
西川　善作　高木外喜男
吉村　武　堀部　泰資
鍋島　昌史　石丸　幹夫
寺垣三和子　石田　宥美
小原　英一
清水外喜男

◈ 公民館役職員

館　長	村井　義明	視聴覚部長	後川　一洋
副館長	小原　英一	施設部長	寺林　昭彦
〃	若林　繁	主　事	水落　進
会計監査	山村　正一	事務員	岡村富美子
〃	松本　三郎		
総務部長	越村　勉		
広報部長	前玉　郁次		
成人教育部長	桶　良之介		
青少年教育部長	酒井　徳久		
体育厚生部長	大村　昭男		

町名	健康推進員		美化推進員	
母衣町	御舘良昭	島野ハル	鷹栖修一	浅田三郎
南睦会	中川勅	高橋外美子	山岸茂夫	
北親会	川崎常治		川崎常治	
彦三・2上	吉田豊	佃真紀子	田中敏之	
彦三・2下	中川政義	山本昭子	西田義直	
彦三・3	河合寿朗		洲崎信子	
彦三・4	香村忠	林富子	林金次郎	
彦三・5上	越野利勝	池田二美	池田二美	
彦三・5中	能本三吉		石田栄子	
彦三・5下	大場有光	村上喬子	吉田茂人	
彦三・6	福井利明	川瀬節	山崎貞雄	
彦三・7	安江敏明	吉村小代子	紺谷信之	北きめ
彦三・8	大崎喜早次	山崎キヨ子	今井正	
横安江町	大井尭	島谷冨美子	中谷富博	
巴町	広瀬昭	山内とし子	西出博	
象眼町上	柿原信一	岡田和子	種本美智子	
象眼町下	石松龍司	岡本公枝	大友喜一郎	
[illegible]市町	宇野洋一	坂上慶子	中田美喜子	
堀川間ノ町	横川博好	高橋雅子	沖茂男	
古餌指町	永野政義		永野政義	
五宝町上	棒田枝津子		江川きみ子	
五宝町中1	大丸勝雄	蚊谷百合子	大丸勝雄	
五宝町中2	越平勝男		中村美智子	
五宝町下	磯野洋明		村沢久美子	
塩屋町上	仙崎嘉明		中崎正人	
塩屋町中	盛永吉男	北谷八重子	千保浩一	飯田富子
塩屋町下	福田孝三	福田静子	東富美雄	
岩根町東	沢田善一	沢田俊子	清水興安	
岩根町西	芝木善市		近本佐太郎	
岩根町中	奥久雄		奥久雄	
岩根町下1	吉村勝雄		吉村勝雄	
あげば会	門竹雄	小西テツ子	岡田憲三	

(注) 公民館委員の( )内は所属部を示す。
(総)……総務部　(広)……広報部　(成)……成人教育部　(施)……施設部
(青)……青少年教育部　(体)……体育厚生部　(視)……視聴覚部

元気に仲よく親子ハイク

公民館、児童館、少連共催の親子ハイキングは、好天に恵まれた5月10日(日)親子、役員ら約130人が参加して向山梅林の「うぐいす台」で楽しい一日を過した。

この日午前8時30分「ひょうたん児童公園」に軽装で集合、親子仲よく「彦三緑地」のツツジ、ボタン満開を鑑賞して一路向山へ。途中、花しょうぶ園で小休止したが、見ごろにはやく1ヵ月も早く、ツツジが妍を競っていた。目的地「うぐいす台」では先発の母親クラブを中心に作ったおいしいメッタ汁に舌つづみを打ちながらお弁当を食べ、缶ポックリを作ったり、フォークダンスやボール遊び、宝さがしなどに時間の経つのを忘れて楽しく遊んだ。

◈ 6月9日から「緑と花」のセミナー

恒例の公民館主催「緑と花」のセミナーは、6月9日から10月27日まで毎月第2・4火曜日の夜7時半から約2時間開催します。会費千円(資料代ほか)。講師は、石川花の会々長橋本竜太先生と同理事・卯辰山公園管理事務所長戸出実先生です。早目に申込んで下さい。

回	月日	学習テーマ	講師
1	6/9	花しょうぶの栽培暦	戸出
2	6/23	さし木のポイント	橋本
3	7/7	庭木の病気と害虫	戸出
4	7/21	夏の鉢もの管理	橋本
5	8/11	庭の下草いろいろ	戸出
6	8/25	観葉鉢ものあれこれ	橋本
7	9/8	花木の整枝と剪定	戸出
8	9/22	秋植え球根の鉢植え	橋本
9	10/13	ツバキとサザンカ	戸出
10	10/27	冬を咲く鉢もの	橋本

◈婦人会長に寺垣三和子さん四選

校下の婦人会長人選は難航を続けていたが4月13日午後1時から開かれた定例婦人部長会議でようやく決まった。

会長に寺垣三和子さん(北親会)の再任を決め、副会長に吉田尚子(北親会・新)池田洋子(塩屋町下・元)═書記担当、川瀬節(彦三6番丁・新)═会計担当、岡田悠基子(古餌指町・元会長)さんの4人と監査に山内とし子さん(巴町)を選任した。

なお、昨年好評だった婦人学級をことしも開設することになり、学級長に疋田八栄さん(彦三2番丁上)と磯野千箭さん(五宝町下)の二人を選んだ。また同会計に山内とし子さんを決めた。

◈ 62年度の婦人学級予定決まる

昨年度に引続き62年度も婦人学級を開設することになり、5月12日の婦人部長会議で下記の通り日程が決まった。

回	月日	時間	学習内容	講師	場所
1	6/12	9時	市施設めぐり	市企画課	バス
2	7/11	2時	くらしの講座	村上 隆	公民館
3	8/(月)	19時	ダンス教室	三松俊雄	〃
4	8/11	2時	主婦と税金	地藤税理士	〃
5	9/10	10時	教養講座	北陸電力	婦[illegible]
6	10/12	2時	文書の書き方	谷川 俊	公民館
7	11/12	9時	県政バス	県社会教育課	バス
8	12/12	10時	伝えていきたい加賀料理	北村綾子	近江町消費者
9	1/12	2時	女にとって豊かな老後とは	髙田美怡子	公民館
10	2/12	10時	閉級式・学習をふり返って		松魚亭

◈ 町対抗バレーボール大会(上期) 6月16～19日

校下の町対抗バレーボール大会(上期)は6月16日(火)～19日(金)午後7時から小学校体育館で開催します。各町会の参加を待ってます。

男女混合で制約はこれまで通り。申込みと組合せ抽選会は、6月12日(金)午後7時半文化会館で。

◈ 歩こう会会長に田中良氏

岩本清氏死去に伴うひさご歩こう会々長後任に世話役田中良氏(64才)═塩屋町上═を選んだ。

ひさご歩こう会は、5月3日午前7時から向山竹の子朝食会に18人が参加したが、あいにくの雨風で茶店内で食事した。席上会長後任の選出を行ない、田中良氏を選んだもの。

なお、6月の歩こう会は、7日(日)午前6時から西念町中央卸売市場方面へ。

◈ 仲よしスポーツ少年団会長に村井氏

仲よしスポーツ少年団を育てる会の岩本清会長が死去されたので、後任会長に村井義明氏(公民館長)を選んだ。

昭和62年7月
7月号
No.182

公民館だより
ひょうたん

発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10—5
TEL　21—1476番

お天気—コース—食事良し

好評だった日帰りバス研修

5回目を迎えた公民館主催の日帰り名所巡りは、5月28日(木)午前8時すぎ53人を乗せて高岡、氷見方面を見学、一日楽しい日を過ごした。

今回はじめてデラックスな観光バスを使用したこと、日曜日を木曜日に変えたことで参加状況を心配していたが、例年と変らぬ50人を越し、バスガイド、添乗員つきの豪華さに参加者は大喜びだった。まず高岡二上山の万葉ラインで資料館を見学、越中の国司大伴家持が200首以上の和歌をつくった万葉時代に思いを馳せながら「平和の鐘」を青空に響かせ、仏舎利塔に詣でた。古府の名刹勝興寺でも「七不思議」や前田家ゆかりの宝物の数々に余り知られぬ北陸有数の名刹ぶりに驚いていた。

写真は勝興寺境内で七不思議を見学する一行

昼食休憩を氷見の古城ホテルでとったが、新鮮な富山湾の魚にこれまた大喜び。虚無僧で有名な国泰寺や高岡銅器の製造工程を見学、NHK大河ドラマ「伊達政宗」の三ヶ月かぶとが商魂たくましく並べられているのに驚いた。

7・8月の主な行事

7月　**〈歩こう会〉**5日(日)午前6時、浅野川下水処理場方面へ。**〈七夕ファイヤー〉**7日(火)午後7時から受付、8時ごろ点火、各自の夢をのせた笹かざりを焼く。**〈町対抗ソフトボール大会〉**12・19日(日)午前7時30分から小学校グラウンドで行う。申込みと組合せ抽選会は8日(月)午後7時半公民館で。**〈陶芸教室〉**7・21日(火)午前10時から公民館で。**〈緑と花のセミナー〉**7・21日(火)午後7時半から公民館で。**〈婦人学級〉**11日(土)午後2時から「くらしの講座」公民館で。講師は販売士協会村上隆氏。

8月　**〈サマーキャンプ〉**児童館・母親クラブ共催で8・9日（土・日）向山少林寺横のキャンプ場。**〈民謡踊りの夕べ〉**22・23日（土日）小学校グラウンドで午後7時から。**〈歩こう会〉**23日(日)午前9時から千丈温泉へ、会費4,000円、申込みは13日まで。**〈ママさんソフトボール大会〉**第9回大会は30日(日)専光寺球場で。**〈緑と花のセミナー〉**11・25日(火)午後7時半から公民館で。

◈ 陶芸教室順調に発足

公民館主催の陶芸教室は、6月2日午前10時から金沢陶器の岡田和子先生指導のもとに始められ、定員11人が全員参加して花いけの製作に着手した。

岡田先生の話によると「初日から定員いっぱいに生徒が集つたのは瓢簞だけ」と生徒も先生も力の入れようがひと味違いそう。馴れない手つきで手回しのロクロと濡れ手拭いを使いながら丁寧に粘土の輪をつみ重ね、2時間でつくりあげた。2回目の16日は、自由作品に取り組み、7月はいよいよ釜入りする。(**写真**は粘土をこねて花いけを形造る教室生)

◈ 雨中を元気に〝提灯行列〟

百万石祭りの前夜祭を色どる子供提灯行列は、13日夜行われたが、校下の少年連盟では5・6年生と役員、交通推進隊員ら約150人が参加した。

中央公園に集結した子供たちは、出発までの間に意地悪い冷雨に降られて可愛いそうだったが、街頭行進では鼓笛隊を先頭に元気いっぱい。午後8時半ごろ横安江町商店街で力いっぱい演奏して見物の父兄たちを喜ばせた。

(**写真**は横安江町商店街で元気に演奏する鼓笛隊)

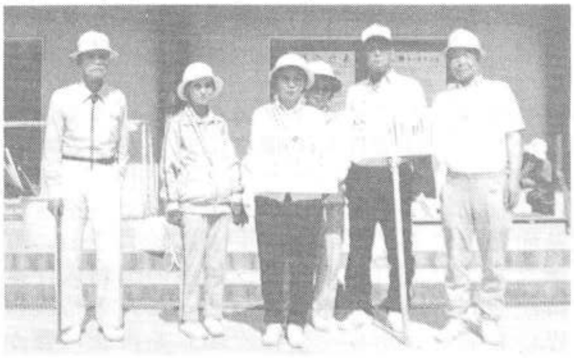
◈ 第5回ほくしん杯に笠市町連覇

第5回ほくしん杯ゲートボール大会は、5月31日(日)好天に恵まれて午前8時半から10チームが参加して行われ、熱戦の末笠市町(水落監督、和布浦、早川花、早川初、岡部選手)が前年に続き優勝した。(**写真**は笠市町チーム)

＜予選リーグ＞(Aグループ)笠市町12—9ほくしん、公民館8—7母親クラブ、笠市町12—9瓢簞町、ほくしん17—7公民館、瓢簞町20—12母親クラブ(Bグループ)彦三町17—9千成クラブ、児童館⑫—12ママさん、千成クラブ15—7町連、彦三町14—8ママさんクラブ、児童館15—14町連。

この結果、Aグループから笠市、瓢簞、ほくしん、Bグループから彦三、児童館、千成の6チームが決勝トーナメント戦に進出。

＜決勝トーナメント＞(1回戦)彦三町17—9瓢簞町、千成クラブ12—7ほくしん(準決彦三町15—10児童館、笠市町20—4千成クラブ＜三位決定戦＞児童館13—9千成 ＜決勝戦＞笠市町12—8彦三町



◈ 中央ブロックソフト大会に瓢簞善戦空し

公民館対抗の中央ブロックソフトボール大会は、6月7日(日)美大グラウンドで男子8チーム、女子4チームが参加して行われた。瓢簞は男子が長土塀に10—5、芳斎に6—0と敗退、女子は材木に13—4で敗れ、芳斎に10—4で貴重な一勝をあげた。

追加訂正 6月号掲載の公民館委員中、あげば会に原輝夫(体)がもれていましたので追加、公民館役職中の会計監査山村正一は正二の誤りです。追加訂正しておわびします。

◈ 大正琴・古流いけ花にどうぞ

5月から公民館を利用して大正琴・古流いけ花教室が開設されたが、参加者はいまひと息。入会者を呼びかけている。

〈大正琴〉 第2・4金曜日午前10時から約2時間。岡田流、先生はフジ音楽センター。

〈古流いけ花〉 毎週金曜日午後4時～8時。先生は越野瑞穂さん。月謝3,500円(花別)。

昭和62年8月
8月号
№183
公民館だより
ひょうたん
発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10－5
TEL　21－1476番

花ざかりの8～9月行事

「民謡踊りの夕べ」は8月22・23日

練習日は 18・19日

校下恒例の夏の風物詩「民謡踊りの夕べ」は、お盆後の8月22・23日（土・日）両日午後7時から小学校運動場で開く。

小学生や家庭婦人のため8月18・19両日（火・水）午後7時から文化会館で高山外余子先生指導の練習会を開く。多数ご参加下さい。

秋の運動会は9月20日(日)

恒例秋の運動会は、学校の都合により例年より早い9月20日(日)に実施する。雨天延期のときは10月11日(日)になります。

従いまして、プログラムの作成等も早くなりますので、近く協賛広告の呼びかけにもご協力をお願いします。

サマーキャンプ8月8・9日

児童館主催母親クラブ後援のサマーキャンプは、8月8・9日（土・日）向山少林寺横のキャンプ場で行う。

8日午後1時児童館前に集合、同30分出発してキャンプ場に向い、テントを設営、ハンゴウご飯でライスカレー、夜はキャンプファイヤー、花火、肝だめしを楽しみ、翌朝ラジオ体操、朝食をとって9時帰途につく。雨天のときは小学校体育館で。

陶芸教室の生徒募集

公民館主催の陶芸教室は、6～7月の第1期講習が終りましたが、9～10月の第2期生を募集します。

第2期は9月1日(火)12日(土)10月6日(火)20日(火)の4回で、第1期生9人が引続き受講希望のため3～4人に限定します。月謝4,500円（うち公民館補助1,000円））です。

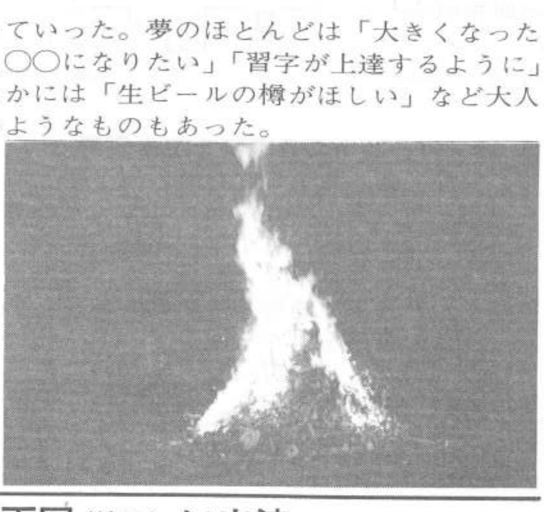
星空に子供の願いをこめて

晴れた七夕ファイヤー

子供のロマンを育てる七夕ファイヤーは、7月7日午後7時から小学校グラウンドで行なわれ、やく500人の親と子がつめかけ盛大に賑った。

朝からの梅雨も午後はウソのように晴れ、空には半月や北斗星が輝いていた。午後7時手に手に思いを短冊に書いた笹かざりを持った子供たちが運動場につめかけ、体育館でゲームを楽しんだ。

午後8時ごろ笹かざりの山に点火、大きな爆竹音とともに乾いた笹の炎は、中天高く舞いあがり、子供の夢、夢が天の川へ向って昇っていった。夢のほとんどは「大きくなったら○○になりたい」「習字が上達するように」なかには「生ビールの樽がほしい」など大人のようなものもあった。



獅子舞、8月2日(日)歩行者天国（片町）に出演

◈ 岩本さん、公民館へ15万円寄付

さる4月15日死去した社会福祉協議会長、前公民館長岩本清氏の49日忌を機会に、香典返しの一部として15万円を寄付された。

両団体代表で有意義な使途を協議の結果、会長をしていた「ひさご歩こう会」旗の更新、小型オートマチックカメラ（ニコンＡＦ401）と「九谷焼花瓶」などを購入、長く記念とすることにした。

（写真は更新したひさご歩こう会会旗と九谷焼天目山水の花瓶）

◈ 日赤募金目標を大巾に突破

校下の日赤募金は、目標額487,100 円に対し 869,940 円に達し、ことしも近く早期完納と目標達成の表彰を受ける。

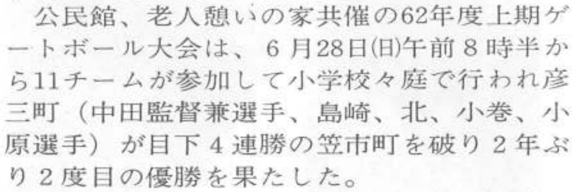
目標達成率178,59%は市内でも上位を占め、理由は従来の１世帯 300 円の社資が 500 円に上ったためとみられる。

◈ バレー大会に彦三七番丁が優勝

62年度上期の町会対抗バレーボール大会は6月16日㈫から3日間毎夜7時半から小学校体育館で開かれ、参加10チームが熱戦の結果彦三七番丁チームが危なげなく優勝した。

２位古餌指町、３位あげば会、母衣町で若い新人の活躍が目立った。下期は11月３日㈷。

戦績つぎの通り。



◈ 彦三町、笠市の５連勝を阻み優勝

公民館、老人憩いの家共催の62年度上期ゲートボール大会は、6月28日㈰午前８時半から11チームが参加して小学校々庭で行われ彦三町（中田監督兼選手、島崎、北、小巻、小原選手）が目下４連勝の笠市町を破り２年ぶり２度目の優勝を果たした。

〈予選リーグ〉（Ａ組）ママさん12―11児童館 公民館11―８ほくしんＢ、笠市町13―10児童館、ママさん11―10ほくしんＢ、笠市町14―９公民館（Ｂ組）彦三町22―７母親ク、ほくしんＡ17―８瓢箪町、町連18―11彦三町、千成ク13―８母親ク、町連⑬―13瓢箪町、千成ク12―７ほくしんＡ。

〈決勝トーナメント〉（１回戦）笠市町12―７千成ク、彦三町11―６町連（準決勝）笠市町23―８ママさん、彦三町13―10公民館（三位決定戦）公民館７―６ママさん（優勝戦）彦三町19―12笠市町。

◈ 歩こう会８月23日 千丈温泉へ

ひさご歩こう会は８月23日㈰午前９時から増改築なった千丈温泉「清流荘」へ行く。

豊富な湯量に柔らかな泉質、山峡の静かなたたずまいは、山菜、川魚料理とともに好評。会費 4,000 円、参加〆切りは13日。先着25名まで。出発は旧金沢電報局前。

◈ 敬老会は９月24日サニーランドへ

校下社会福祉協議会（会長 松本三郎氏）主催の敬老会は、ことしは向山のサニーランドで芸能を楽しんだり、入浴、昼食をとることにしている。

例年ならば９月15日敬老の日直後の土曜日にほぼきまっていたが、ことしは学校の都合で９月20日㈰が運動会となったため、９月24日㈭午前10時ごろバスでサニーランドへ行き、午後３時すぎ帰ることにした。75歳以上の敬老会該当者調査ならびに出欠調査を８月末から９月はじめ各町会で行う。

◈ あそびのチャンピオン大会８月27日

第２回石川県あそびのチャンピオン大会が８月27日㈭午前10時～午後４時まで行われるが、瓢箪児童館でも当日実施する。

練習日は毎週月・金曜日です。種目はの５つ。

①豆つまみ（１分間に豆をハシでつまむ）
②指でさいて何ｍ（紙テープを１分間でさく）
③ピンポン玉のせ（ラケットに球２つ）
④かかし（１本足で目をつむって立つ）
⑤かえるのあしあげ（両足をもちあげる）

◈ ダンス教室８月３日から５回

婦人学級の一環として８月３日㈪午後７時半から９時半まで毎週月曜日ダンス教室を開く。講師は三松俊雄先生ら（北親会）で５回分として 1,500 円。

◈ 婦人学級８月11日「主婦と税金」

８月の婦人学級は、ダンス教室のほか11日㈫午後２時から公民館で地藤税理士を講師に「主婦と税金」について勉強会を行う。

昭和62年９月
９月号
No.184

公民館だより
ひょうたん

発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町２丁目10－５
TEL　21－1476番

しし舞、歩行者天国で乱舞
９月15日　校下一円でも披露

〝新しい夏まつりを考えよう〟一をスローガンに８月２日(日)午後４時から開かれた歩行者天国に瓢箪町校下獅子舞保存会から中学生８人、小学生９人の棒ふりを中心に頭ふり、鼓笛隊、三味線、太鼓ら総勢50人余が繰り出し、日ごろ鍛えたしし舞を香林坊、片町、竪町の繁華街を晴れ舞台に元気いっぱい披露し、黒山の人々から熱い拍手をあびた。

(**写真**は片町のド真ん中で熱演する尺八のしし舞＝太刀黒田・尺八疋田の両君)

この日に備えて、７月24、25、30日、８月１日の４日間、子供達も棒ふりに特訓を重ね、衣裳合わせに母親も懸命の応援、中央公園に勢揃いした一行は、午後４時半のぼりを先頭に太鼓、三味線、笛の鳴り物も賑々しく香林坊、片町、竪町で妙技を披露、午後６時半まで声も枯れるまでに熱演した。低学年の可愛い三ツ剣、女子の長刀、中学生の力強い六尺棒、大太刀、くさり鎌、尺八など練習の成果を十分に発揮し、どの顔も満足気だった。

なお、ことしは９月15日(祝)の秋祭りに校下全域で練習の成果を発表することにしており、歩行者天国に出演できなかった５、６年生ら10数人も加わって一大絵巻が期待される。

お祭太鼓大会
９月14日午後５時校庭で

児童館、少連共催のお祭太鼓大会は、９月14日(月)午後５時から小学校々庭で開く。

年々参加者が減る傾向にあるので、ことしは趣向を一部変えて、参加者全員に参加賞を出し、従来のトロフィー援与の表彰制度をやめ秋祭り気分をあおることにした。太鼓の練習日は９月12・13両日午後７時から児童館で行なう。

校下の大運動会９月20日

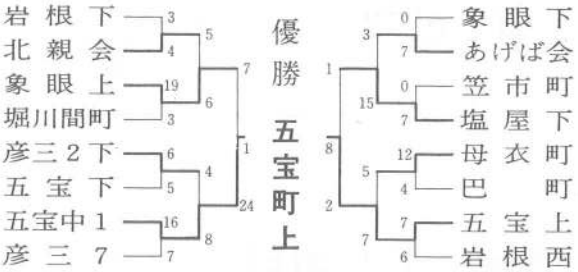
秋恒例の大運動会は、例年より早く９月20日(日)午前９時から小学校運動場で開く。雨天延期のときは学校の都合で10月11日(日)に。

敬老会は24日サニーランドへ

75歳以上の長寿を祝う敬老会は、９月24日(木)午前10時元電報局前からバスで向山サニーランドへ行き、芸能、昼食、入浴などを楽しむ。帰りは午後３時ごろの予定。

五宝町上組が優勝

公民館主催の62年度町会対抗ソフトボール大会は、雨のため7月12・19・26日(日)の3日間にわたって行なわれ、接戦の末五宝町上が晴れの栄冠を獲得した。（**写真**は優勝の五宝町上）2位 五宝町中1組 3位 塩屋町下､象眼町上。昨年から年1回となり、16チームが参加申込みをしたが、雨や1週間延期のためベストメンバーが組めず、不本意な成績に終った町会もあった。



◈ 市社福大会で松本さんら4名受賞

第33回金沢市社会福祉大会が7月28日午後1時から市文化ホールで開かれたが、席上永年にわたり民生委員として活躍されてきた松本三郎（岩根町西部）岩井千代子（南睦会）山村美代子（彦三七番丁）さんの3名と、南部鶴亀会々長を歴任している三森俊一さん（彦三七番丁）に江川大会長(市長)から表彰状が贈られた。

◈ 新前町連会長ら4人に市長感謝状

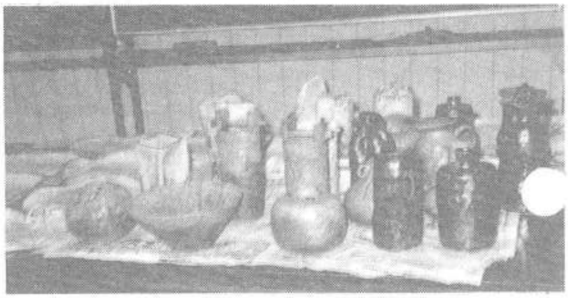
金沢市町会連合会大会が8月20日(木)午後1時から高岡町の市文化ホールで開かれ、席上江川市長から前校下町会連合会長新幸造氏ら4人に感謝状が贈られた。

新幸造氏は4年間町会連合会長を歴任したもので現在も彦三6番丁町会長、得能繁氏は前岩根町西部町会長を14年間務め、町連副会長も務めた。四辻和夫氏は7年間堀川間ノ町町会長を勤め、町連理事を歴任した。故岩本清氏は、彦三7番丁町会長を7年勤め、町連副会長を勤め、次期町連会長に内定していたが、この4月死去された。

◈ 世界唯一つの作品に満足感

「これが私の作品？！」―驚きと喜びの複雑な声が一斉にもれた。陶芸教室2ヵ月目で自分の手掛けた粘土が見事生け花器や菓子皿となって手にした時の瞬間である。それは製作者にしかわからない喜びであろう。

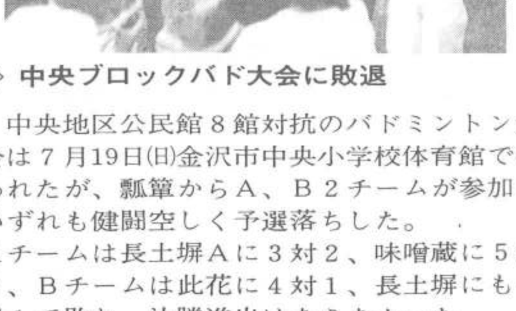
なお、陶芸教室は9月10月も第1・3火曜日に原則として続けられる。（**写真**は初の窯出しされた作品の数々）



◈ 夏休みを満喫のサマーキャンプ

児童館主催のサマーキャンプは、8月8・9日(土・日)向山少林寺横のキャンプ場で行なわれ、小学校4～6年の男女83人と付添いの母親クラブ役員ら総計100余人がテントを設営して夏の夜を楽しんだ。

ハンゴウで炊いたライスカレー、きれいに澄んだ涼しい山風に吹かれてのスイカなどの味は格別、激しく燃えるキャンプファイヤーに花火をしながら中央小学校宮本先生の指導で星を観測、肝だめしに悲鳴とも歓声ともつかぬ声をあげながら楽しい思い出となった。（**写真**はテント設営を終りスイカを楽しむ子供たち）



◈ 中央ブロックバド大会に敗退

中央地区公民館8館対抗のバドミントン大会は7月19日(日)金沢市中央小学校体育館で行われたが、瓢箪からA、B2チームが参加し、いずれも健闘空しく予選落ちした。

Aチームは長土塀Aに3対2、味噌蔵に5対0、Bチームは此花に4対1、長土塀にも4対1で敗れ、決勝進出はならなかった。

昭和62年10月

10月号

No.185

公民館だより
ひょうたん

発行　瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10－5

TEL　21－1476番

〝夏に別れの盆踊り〟
参加者年々減少か

瓢箪町校下恒例の「民謡踊りの夕べ」は、お盆も過ぎた8月22・23日（土・日）午後7時から小学校々庭で賑やかに行なわれた。

台風の接近で心配された天候も、22日は午後9時ごろ激しい雨となって早目に切り上げ、23日はどうにか9時半まで心ゆくまで踊ることができ、まずまずの出来映えだった。

婦人会民謡踊りのベテランを中心に、北陸信用金庫の約20人の揃いのゆかた姿が目をひくなかを、老若男女思い思いの夏姿で輪をつくり、さす手ひく手も鮮やかに「百万石音頭」「炭坑節」「おわら節」などを太鼓の音も高らかに踊り、最後の夏に別れを告げた。

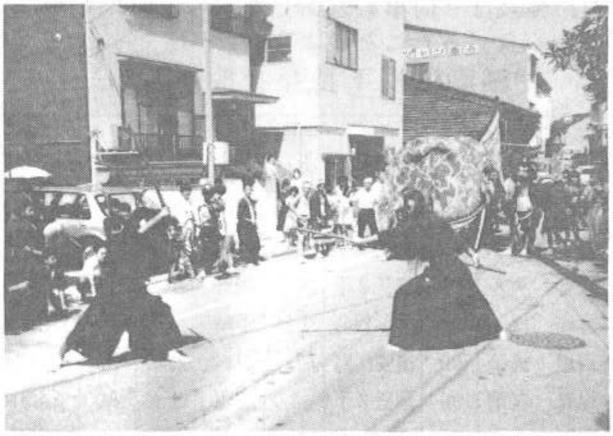
参加者は延べ約千人で、心なしか年々減少する寂しさを禁じ得なかった。（関連記事2面）

獅子舞汗だくの熱演

真夏日を思わせるように晴れ渡った9月15日㈷復活四回目の獅子舞が、一日中盛大に校下一円を回り、日頃の練習ぶりを力いっぱい披露、お祭らしいいきいきした空気を送りこんだ。

午前6時半文化会館に集合した一行は、衣裳合わせや諸道具を整え、午前8時ごろ鍛治八幡神社へ出発。小学校1年生から中学3年までの棒ふり39人、鼓笛隊14人、頭ふり7人ほかに世話役、父母ら総勢100人を越す大部隊。象眼町、巴町、五宝町の獅子頭とともにお祓いを受けて獅子舞を奉納、校下一周のスタートを切った。

小橋、東別院境内で朝食、昼食をとりながら50数ヶ所で獅子舞を披露したが、兄弟、姉妹組や親子組も熱演して観衆の感動をさそった。多くの方々から激励のお祝いをいただき厚くお礼申しあげます。



11月1日㈰～3日㈷文化祭
バザー用品集めは24日まで

公民館主催の文化祭は、11月1日㈰から3日間文化会館で盛大に開催する。

ことしは、チャリティーバザーの年なので、各家庭の不用になった品物を供出して下さい。〆切りは10月24日㈯午前中までに町会ごとに公民館まで届けて下さい。1日午前10時から格安の値で売り、共同募金とします。

午後は演芸会、すし、やきとり、おでんなどの模擬店をひらくほか、3日間各教室の作品展もあります。3日㈷は午前もちつき大会で閉幕します。ご参加、ご協力を。

歩こう会10月4日㈰午前6時出羽町方面へ

白寿を迎え元気な盛永さん

校下で一番の長寿者

9月15日は敬老の日だが、瓢箪町校下の最長寿者はことしも99歳でいまなお元気ものの塩屋町下組の盛永津弥さん(写真)＝瓢箪町5—30＝である。

校下で数え年百歳を越えたのははじめて。明治21年5月生まれの小松出身。男5人女3人の母として明治、大正、昭和三代を生き抜き、なかでも最愛の男子3人も第二次世界大戦で失い、靖国の母として苦しさ、悲しさにひたすら堪えてきた。

「息子3人分も生き抜かなければ…」と好き嫌いなく食事はおいしいし、耳も目も足も他人の手をわずらわすことのない元気もの。長寿の秘訣は「何事も感謝しながら、何でもおいしく食べる」ことのようだ。

瓢箪町校下長寿者番付表

(東)				(西)		
氏　名	年令	町　会	番付	氏　名	年令	町　会
盛永　津弥	99	塩屋町下	横綱	竹内　タミ	95	彦三・7
吉本　文子	93	彦三5下	大関	小松　つよ	92	塩屋町上
蚊谷　テル	91	彦三2下	関脇	越野　ひな	91	彦三5中
宮崎　はる	90	北　親会	小結	中崎　つる	90	岩根町西
吉川　貞子	90	横安江町	前頭	田村　乃婦	90	彦三5上
福光　友治	90	彦三2下	2	埴生　サク	89	塩屋町中
布谷　とめ	89	堀川間ノ町	3	田村　勇	89	塩屋町中
多田　かね	89	彦三2上	4	岸　せき	89	彦三5上
荒谷みさを	89	堀川間ノ町	5	洲崎　豊吉	89	彦三・3
蚊戸　外	89	巴　町	6	中田　美代	88	彦三・3
山本幸一郎	88	岩根下1	7	岡本太十郎	88	塩屋町上
桶　初	88	塩屋町中	8	北市みどり	88	横安江町
坪田　義勉	88	彦三2下	9	伊藤　初枝	87	彦三5上
大谷　ミチ	87	彦三・7	10	斉田　平次	87	横安江町
塩原弥吉郎	87	母衣町	11	蚊谷　初枝	87	五宝中1
市嶋　栄吉	87	五宝町上	12	浦　きく	87	巴　町
水上　いと	87	彦三2下	13	沢井　初子	87	彦三・4
富川　時	87	彦三2上	14	保科　菊枝	86	塩屋町中

◈ 道下さんに日赤感謝状

道下市助さん（岩根町下1組）は、積極的に日赤募金に参加し、このほど10万円に達したので、山本日赤社長から感謝状が伝達された。

◈ 民謡踊りの夕べ決算報告

昨年やく1万円の赤字を出した「民謡踊りの夕べ」ことしの決算は、町会連合会5万円、公民館3万円の新たな寄付が大きく影響して4万7千円の繰越し決算となった。

内訳は、各種団体等の寄付金14万7千円、個人寄付8万円といずれも前年を上回り、収入総額22万7千円。支出は電飾設備7万円、氷菓子3万9千余円、謝礼3万1千円、慰労反省会3万3千余円、雑費1,160円の総計18万660円で、差引き繰越金は4万6,340円となった。

◈遊びのチャンピオンに山本君ら13人

8月27日県下の児童館で「遊びのチャンピオン大会」がいっせいに行われ、瓢箪児童館では46人の少年少女が4種目に挑戦した。

豆つまみ、テープを指でさいて何メートル、かえるの足あげなどに子供なりに懸命にチャレンジしたが、県の認定基準が昨年より上ったため合格者は少なかった。

なかで、あげば会の山本泰広君（小5年）は一本足で立つ「かかし」の部で昨年の記録35分42秒の自己記録を大巾に更新して1時間7秒の優秀記録を樹立した。合格者は次の13人。

〈豆つまみ〉＝1分間に40個以上　片山ひろみ
〈指でさいて〉＝　〃　200センチ以上　福光たけし、川崎美穂、片山ひろみ、志村香代子、大林亜希子、熊田敬子、柿本昌彦
〈かかし〉＝10分以上　山本泰広、川崎美穂、風早崇史、森原新子
〈かえるの足あげ〉＝40秒以上　熊田敬子

◈ 10月4日(日)はいも掘りに

児童館は10月4日(日)粟ヶ崎町でいも掘りを行ない、粟ヶ崎児童館で同館の子供たちと交流をはかる。

◈ お祭り太鼓競演会賑かに

お祭り太鼓大会は、9月14日(月)午後6時から「ひょうたん児童公園」で行なわれたが、53人の子供たちが元気に参加したほか、父兄たちの参加が目立ち、例年より大成功だった。

これまで各町会対抗としていたのを、個人参加に変更し、場所も学校から児童公園にしたのが何となく家族的ふんいきを強めたせいかもしれない。大バイ、小バイを叩くペアの意気も投合して祭り太鼓の気分をもりあげ、全員に参加賞、優秀12人にノート、鉛筆が贈られた。

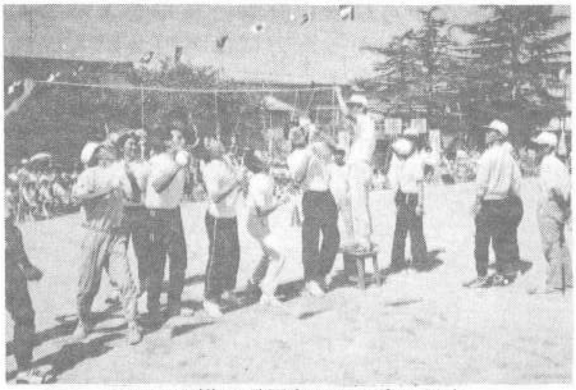
児童館体力テストは10月25日小学校体育館で

昭和62年11月
11月号
No.186

公民館だより
ひょうたん

発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10－5
TEL　21－1476番

町会対抗で熱の入るむかで競走


なりふり構わず懸命のパン食い競走

初の町対抗優勝は堀川間ノ町
リレーは五宝上が連勝

第14回瓢箪町校下大運動会は、９月20日(日)午前９時から小学校運動場で開かれ、前日までの雨模様の天気がウソのように晴れ渡った秋空のもと、例年にない多い参加者でもりあがりをみせた。

原因は、町会対抗種目をリレー以外にゲートボール、むかで競走、小綱引の三種目が加わったためとみられる。初の町会対抗総合優勝は堀川間ノ町、二位は母衣町、３位が塩屋[illegible]。リレーはことしから女２、男３人の各一周に変ったが、優勝は昨年引続き五宝上、二位五宝中１、三位塩屋下だった。

また午前中の部は、小学校主催が大半で、個人競技のほか玉入れ、小綱うばい、騎馬戦たてわりリレーが紅白戦で行なわれ、紅軍が快勝した。鼓笛隊の見事な演奏にも破れんばかりの拍手が贈られ、楽しい秋空の一日だった。

11月の主な行事

- **文化祭**　１日(日)～３日(祝)作品展、バザー、芸能大会、模擬店、もちつき、バレーボール大会
- **歩こう会**　１日　午前６時常盤町方面へ。
- **ゲートボール大会**　15日(日)午前８時から小学校で。組合せ抽選会は11日10時。
- **親子卓球大会**　22日(日)午前10時児童館で。
- **バドミントン大会**　29日(日)午前10時体育館で。

町会対抗成績表　(得点　１位　３点、２位　２点、３位　１点、綱引は２勝　４点、１勝　２点)

種目＼町名	母衣町	北親会	彦三4	彦三5上	彦三7	巴町	象眼上	笠市	堀川間	あげば	岩根下	塩屋中	塩屋下	五宝中一	五宝中二	五宝上
ゲートボール競走	3		1		2	3			3	2	2			1	1	
むかで競走		1				2	3		1	2	3	2	1			3
小綱引	4			4				4	4			4	4	4	4	
計	7	1	1	4	2	5	3	4	8	4	5	6	5	5	5	3

◈ 敬老会サニーランドへ120人

校下の75歳以上のお年寄の長寿を祝う敬老会は、社会福祉協議会（会長松本三郎氏）が中心となって9月24日(木)午前9時半から向山のサニーランドで楽しい一日を送った。

該当者364人のうち出席したのは97人。世話役を混えてやく120人。最高は95歳の竹内タミさん（彦三7番丁）で、入浴、ショーなど楽しみながら昼食に健康と長寿をよろこんだ。参加できなかった方には各町会婦人部長からお祝いのお菓子、手拭が届けられた。

（**写真**は迎えのバス2台に分乗してサニーランドへ向うお年寄り）

◈ 陶芸教室引続き開設

公民館主催の陶芸教室は、6、7、9、10月の4ヵ月開設し、10月20日で終了したが、生徒さんの希望で11月以降も続行することになった。開設日は第1・3火曜日午前10時。講師は陶喜和陶芸教室主宰の岡田和子先生。会費は教材費、窯代を含め4,500円。

◈ 岩本さんに市長感謝状

瓢箪町小学校後援会長をしていた岩本清氏が死去され、遺族の長男清史郎氏から香尊返しの一端にとバスドラム一式が寄付された。

9月20日の校下運動会の開会式の席上、槇野教頭から市長感謝状を伝達するとともに、バスドラムが披露された。

なお、第2代館長として縁の深かった公民館にもカメラ、花器、歩こう会々旗の寄付があったので、11月1日文化祭（芸能大会）の席上、同じく市長感謝状が村井館長から伝達される。

◈ 初のウォークラリーに人気

児童館主催の初のウォークラリーが9月27日(日)に行われたが、3人一組、10チームで得点を競った。

方法は、彦三方面の地図を頼りにチェックポイント、観察ゾーンの問題を一定時間内に答えながら公民館前に帰ってくる仕組み。問題による得点と時間内の得点を総合してチームの入賞が決まった。

1位ハヤブサチーム（風早崇、左堂えみ・前川健児）2位イーグルチーム（藤村貴夫・吉藤啓太・志村加代子）3位ドラゴンチーム（山村志乃・福光毅・山本泰広）

◈ わーい、でっかいイモだぞ！

自然に親しまそうと、児童館では10月4日(日)低学年の児童40人と役員13人がつきそって粟ヶ崎へバスで行き、さつまいも掘りを行なった。

快晴の青空のもと、はじめて見るいも畑に恐る恐るの様子だったが、つるを引っ張るたびにもこもこと掘りおこされるイモ、イモの行列に「わーい」「わーい」の歓声があがった。

粟ヶ崎児童館で仲よく中食を食べてゲームに入り、一輪車などでお互いの友交をあたため、袋いっぱいにつめたイモをおみやげに元気よく帰った。また、この日仲よしスポーツ少年団の親子110人もキゴ山でイモ掘りを楽しんだ。

（**写真**は粟ヶ崎で夢中でイモを掘る子どもたち）

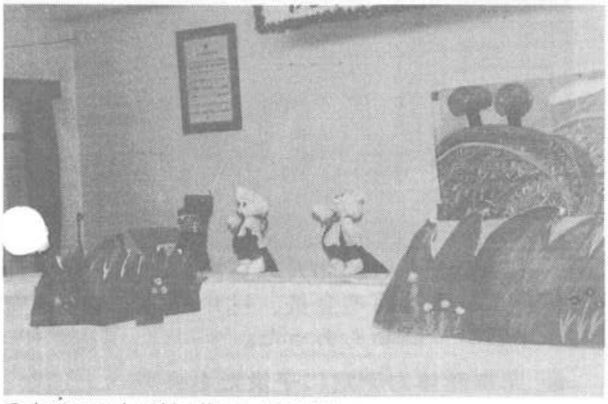
◈ NTT杯中央地区GB大会に瓢箪優勝

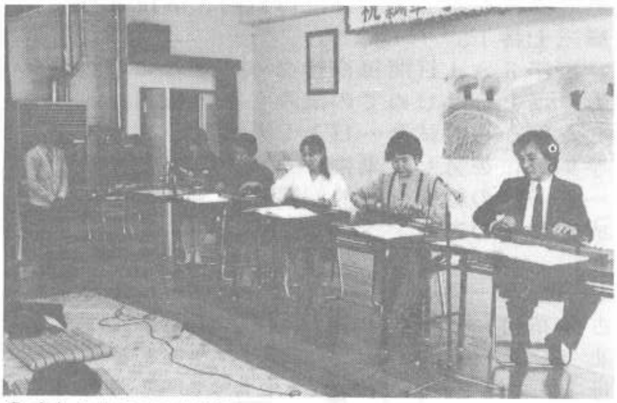
第1回NTT杯金沢中央地区マスターズダイナルゲートボール大会が10月8日芳斎校下の穴水町児童公園で行なわれ、瓢箪Aチーム（水落監督、中田、村田、島崎、新選手）が栄冠を獲得した。

瓢箪からAB2チーム、長土塀3、芳斎、松ヶ枝各2、長町、此花各1の11チームが参加して予選リーグ2試合を行って決勝トーナメント進出7チームを選んだ。

瓢箪Bは予選落ちしたが、Aは1勝1敗6得点で決勝へ進出、2回戦で此花に15対11、優勝戦で長土塀Cを13対8で破り初優勝した。

昭和62年12月
12月号
No.187
公民館だより ひょうたん
発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10—5
TEL　21—1476番


① 初登場の人形劇「仲よしの子ぶた」


② 音色さわやかに大正琴

3日間賑った第10回文化祭

公民館主催の第10回文化祭は、11月1日(日)をメインに3日(祝)正午まで文化会館を主会場に盛況裡に開催され、延べ700人が参加した。

1年おきに開催するチャリティバザーがトップを切って1日午前10時行なわれた。開場前から詰めかけた人、人、人でやく300人がどっと押しかけ、開場15分後にはめぼしいものがまたたく間に品切れ。目玉商品の石けん[illegible]個一袋200円、タオル6本一袋200円に人気があった。校下の皆さんのご好意で出品された数千点のいろいろの品物も、衣類の一部を除き50分で売れ、約15万円が共同募金などに寄付された。

午後は芸能大会で、冒頭公民館にカメラなど寄付された岩本清氏遺族岩本清史郎さんに村井館長から市長感謝状が伝達され開幕。

婦人会民謡踊りを中心にカラオケなどで賑ったが、ことしはとくに児童館母親クラブの指人形劇「仲よしの子ぶた」や大正琴5人の奏でるさわやかな音色が印象的だった。

各教室の作品展では、ことしはじめて開いた陶芸品の出品に衆目を集めたほか、若竹会の俳句、佛彫2点も目をひいた。

3日(祝)のもちつき、小学校体育館での町対抗バレーボール大会は、あいにくの降雨で例年より盛りあがりに欠けたようだった。

③ 押すな押すなのチャリティバザー

④ 手づくりの陶器、仏像も出品の作品展

1月3日(日)午前10時 小学校庭で校下消防団出初式

塩屋下、若い力で栄冠

文化祭記念の校下町対抗バレーボール大会は11月3日㈷午前9時から小学校体育館で10チームが参加して熱戦を展開、塩屋町下組チームが若い力の攻撃力が奏功して最近常勝の彦三七番丁、母衣町をストレートで連破し晴れの優勝を飾った。2位母衣町、3位北親会、彦三七番丁。

毎年3～4日間毎夜行なってきたこの大会も、ことしはじめての試みとして祝日を利用した朝からの試合一日としたが、かえって選手集めに苦労して棄権するチームも出るなど一長一短の結果となり、評価はまちまち。

成績つぎの通り。

◈ 緑と花10回の講義終る

恒例の緑と花のセミナーは、6月から毎月2回行なわれ、10月27日村井館長から「地域の美化、家庭の美化に役立ててほしい」と労苦をねぎらい、記念のピラカンサス、白りんどう、万両などの鉢植えが贈られた。

この講座は来年も続けられるが、ことしの講師は石川花の会々長橋本龍太、副会長戸出実両氏だった。

◈市バレーボール大会で瓢箪3位

市公民館対抗バレーボール大会が10月18日市総合体育館で行なわれ、一般男子の部に出場した瓢箪チームがよく健闘して3位に入賞した。女子チームは残念ながら1回戦で敗退した。

一般男子は1回戦に強豪大浦を2－0、2回戦戸板を2－0で破ったが、準優勝戦で伏見台に惜しくも2対0で敗れ3位となった。女子は夕日寺に2－0で涙をのんだ。

◈ 涌波氏緑美会長から表彰状

校下の緑美会指導員涌波秀博氏＝笠市町＝は、10月28日市役所で行なわれた「緑を育て金沢を美しくする会」(略称緑美会) に貢献した理由で牛村会長から表彰状を贈られた。

涌波氏は校下の指導員として積極的に美化運動に協力したほか、民生委員総務としても校下のひとり暮らしの老人に誕生日になると愛の一鉢運動を展開し、鉢花を届けている。

◈ 老人会合同の法要厳かに

校下東部、南部、西部三鶴亀会合同の法要が11月9日午前10時から松立寺で厳かに営まれ、この一年間に亡くなられた岡村与作さんら7人の会員のご冥福をお祈りした。(写真は思い出も新たに厳修された合同法要)

三鶴亀会から約50人の会員が出席、松本社福会長、中谷町連会長、村井公民館長ら来賓も出席して法話もあった。

◈ 児童館体力測定に子供たち必死

10月25日小学校体育館で児童館主催の体力テストが行なわれ、雨にもかかわらず参加した熱心な子供約30人は、自分なりの体力を知ろうと汗だくの努力だった。

テストは、握力、背筋力、上体そらし、前屈機能、昇降踏み台、5分間走、立巾とび、ひじ立て伏せ、時間往復の9種目を測定器具を使ってのテストに、お友だちに負けまいと必死のがんばりよう。記録帳をみて一年一年の生長ぶりに満足げだった。

◈ 歩こう会12月6日朝がゆ会

ひさご歩こう会 (代表 田中良氏)12月の行事は、6日㈰午前7時文化会館前に集合、豆田大橋から新橋方面を散策、かわ新で朝がゆ会を開く。会費1,500円。

また1月の行事は、10日㈰午前9時から安江八幡宮に参拝後、文化会館で初顔合せの新年宴会を開く。会費1,000円。申込みは1月7日までに。

◈ 1月3日は新年互礼会

町連主催の校下恒例の新年互礼会は、1月3日㈰午前11時から文化会館ホールで各種団体長や町会長、有志が出席して開く。会費は1,500円で、申込み締切りは12月21日。

年末年始の休館お知らせ

文化会館(公民館・児童館・老人憩いの家)は、年末年始のため12月28日午後1時から1月3日まで休館します。ご了承下さい。

12月13日㈰10時から囲碁大会(会費 500円)

昭和63年1月
1月号
No.188

公民館だより
ひょうたん

発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10－5
TEL　21－1476番

年頭のごあいさつ

生甲斐のある人生を

公民館長　**村井義明**

皆様には希望に胸ふくらませた初春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中も幾多の事業活動の展開がありましたが、関係各位の暖かいご支援、ご協力のもと盛会裏に進めさせていただき感謝しております。とくに11月の文化祭には２年ぶりのチャリティーバザーで善意の集まりが多額な金額にのぼり、共同募金及び海外難民救済基金に寄付させていただきました。

さて公民館活動も社会の複雑多様化の中での運用のあり方が問われ、各大会において今真剣に討議研究が行われております。

第５次臨教審答申においては生涯学習の重　が強調され、だれもがいつでも、どこでも学習の場が与えられ、受けられ、より明るく健全な街づくり、人づくりの場となるよう努力目標が示されています。

当校下も市街地ドーナツ現象の中で過疎、人口の減少そして高齢化社会が進展する中で生涯学習が非常に大切欠くべからざるものになっています。社会教育の場としての公民館を核として楽しく生甲斐のある人生を広く展開させるよう皆様ともども研究努力を重ねたいものです。

誰でも参加できる街づくり

町会連合会長　**中谷　弘**

新年おめでとうございます。昨年は校下の皆様の理解あるご協力により、一年間大過なく運営できましたことを心から御礼申しあげます。

さて、世界は戦争等緊張の中からようやくわずかながらも平和への模索が行なわれつつあるとはいえ、経済の行方は益々複雑をきわめ、わが国にも諸々の影響を与えています。

このような不安定な内外の情勢をふまえてこれからの私達の生活を考えると、飽食、華美の時代、甘え、依存の気持から自立節度ある生活水準に引戻さなければならないといわれています。

このような理念にたち校下を預る町連として「入るを以て出ずるを計る」謙虚な心から各活路を見出しながら、誰にでも解る、誰でも参加できる明るい街づくり、そして誰とでも話しあえる楽しい毎日があれば、必ずそれが校下、地域の発展につながると信じています。よりよいアイデア・意見をお寄せ下さい。

三つの願い

学校長　**三谷久市**

輝やかしい1988年の新春を皆々様お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の10月８・９日、第20回全国小学校理科教育全国大会が、本校と南小立野小を会場校として開かれました。全国より1,500余名の先生方が参観され、異口同音に子どもの柔軟な思考・創造的な活動・感動的な教育実践・工夫された教育環境……等々ほめ言葉をたくさん耳にしました。全国大会が盛会裡に終えることが出来ましたのも皆々様のご支援・ご協力の賜と感謝しております。

今世紀も、あと12年で終りであります。現在の小学生の皆さんは、18才から24才の青年

になっております。21世紀を背負って立つ若者たちの健全な成長を、心より祈って止みません。

本年は飛躍の辰年です。年頭にあたり
1、美しい心　2、強い体　3、考える頭の3つの願い（人生究極の目標）を贈り、皆々様のご多幸・ご発展をお祈り申し上げます。

人生80年時代に

老人憩いの家室長　**清水外喜男**

戦後40年余り平和のおかげで、物は溢れ、日本はいまや世界一の経済大国となりました。

われわれ老人も社会福祉の恩恵に預り、医療の進歩発達で長生きでき、老人天国の感さえあります。

毎日のテレビや新聞は、東京都の地価高騰で相続税を心配する人や、マイホームも持てぬサラリーマンの悩み、浮浪者が糖尿病で困っているなど、笑えぬニュースを伝えている。

敗戦当時のことを思うと誰もが想像もできなかったことばかり。

明治、大正、昭和を生き抜いたわれわれ老人も、可能な限り地域美化の奉仕精神と伝統文化の継承につとめ、ゲートボールなどで手足と頭を鍛え、社会の恩恵にお報いすることが人生80年代に入った老人の使命と思います。

大いに老人憩いの家を利用して下さい。

婦人（おんな）2000年への出発（たびだち）

婦人会長　**寺垣三和子**

世の中が目まぐるしく多様化してきました。主婦の職業進出意欲も旺盛で、自立的積極的な自己主張を持ったと言われていますが、言葉のみが先行している感じではないでしょうか。毎年町会代表でお出ましの部長にそれが表われています。

婦人会活動は地味ながら、女性として歴史的文化教養を受け継ぐ躾(しつけ)や親子のあり方を守り続けてゆけるよう、そして女性でなければできない点を、地域の中で老若を問わず話あい、知恵を出しあって明るく住みよい地域作りに共に頑張っていこうではありませんか。

「隣は何をする人ぞ！」という町に住んでいるのは、あまりにも味気ないもの。暖い心の交流のある地域作りに手を取りあって
「２０００年へ出発(たびだち)。」

皆様の一層のご指導ご協力をお願いします。

集団による遊び

児童館長　**小原英一**

児童館は遊びを通して運動に親しむ習慣の形成を目指し、児童の健康を増進し、また情操を豊かにすることを目標にしています。

最近の児童の遊びの形態は同年令同志の集団での遊びが多く異年令集団の遊びが少ないため、昨年は親子ハイキング、サマーキャンプ、お祭太鼓大会の内容を変え実施し、より幅広く参加できるものとしウオークラリー、芋掘り等を行い異年令集団による活動の場をより多く設けたほか、児童館の遊びを発展させるため、児童館の機能を生かし初の試みとして児童館相互の交流を行うため粟崎児童を訪問し遊びを通し交流を深めることに成功しました。

今後も、児童の集団による遊びを中心とした活動を児童館を拠点として展開させます。

明るい街づくりを

防犯交通委員長　**西川善作**

死亡事故抑止草の根運動を提唱し、全家庭に交通安全意欲の高揚にご協力をお願いいたしましたが、昨年度県下の交通死亡者は100名を数える暗い年を送りました。

当校下においてはさしたる事故や防犯事件も発生せず、明るく迎春できましたことを共々にお喜び申しあげます。

これも偏えに校下の皆様の深いご理解と家庭における一言運動の賜と思っております。

今年もより一層のご自戒とご協力により[illegible]しい家庭、明るい地域づくりに邁進したい[illegible]思います。

心豊かな人間に

少連育成委員長　**吉村武**

日ごろ少連に御協力を賜りましてありがとうございます。21世紀を背負う子供達には無限の輝きが秘められています。しかし、今日の子供達をとりまく社会環境は常に変化し、決して十分なものとは言えません。

われわれ校下少年連盟の育成委員は、お互いに手をとりあって様々な活動を進めてゆくことによって子供達に、家庭や地域を愛する心を、さらには友情を育て、思いやりや責任感のある心豊かな人間にひとり一人が逞しく成長することを願っています。

羽ばたけ！新成人

ことし校下で成人式を迎えるのは、男31名女40名の計71名。該当者は昭和42年4月2日から翌年4月1日までに生まれたもの。

お祝いの成人式は、1月15日㈮の祝日午前9時半から受付、10時から文化会館2階ホールで市長代理や校下各種団体長らの祝福を受ける。記念品は町会から印鑑、市長から国語辞典、公民館からケーキなどが贈られ、小学校卒業時の担当恩師を囲んで8年ぶりの再会を喜ぶ祝賀パーティ、記念写真の撮影などがある。

また、社会人へのスタートを記念して明正選挙、交通事故の撲滅、青少年の非行防止に対する新成人らしい決議をすることにしている。

≪成人式該当者≫

町会名	氏名	町名
母衣町	宮森　泉	彦三町1-8-34
南睦会	山本真由美	〃 1-7-28
〃	門田　綾美	〃 1-13-34
北親会	藤沢　和陽	〃 1-13-18
〃	深田　茂樹	〃 1-13-19
彦三2番丁上	村田　栄蔵	〃 1-6-38
〃	岡田　哲	〃 1-6-31
彦三2番丁下	東中　久幸	〃 1-17-12
〃	堀　真紀子	〃 1-17-10
彦三3番丁	山本　智英	〃 1-14-28
〃	高島　一英	〃 1-5-23
彦三4番丁	香村　実穂	尾張町2-6-12
〃	岡田　茂樹	彦三町1-5-6
彦三5番丁上	木曽　義将	〃 1-3-23
〃	吉本　和照	〃 1-14-2
〃	藤野　茂	〃 1-14-29
彦三5番丁中	高橋　洋子	〃 2-13-5
彦三5番丁下	奥　啓太	瓢箪町22―20
〃	永田まゆみ	〃 22―19
彦三6番丁	根布　憲一	〃 22―28
〃	木田　典子	彦三町2-3-3
〃	徳田　学	〃 2-10-21
〃	南出　茂	〃 2-10-17
彦三7番丁	吉村　昌之	〃 2-6-5
横安江町	湯浅加奈子	安江町15―57
〃	前田　宏和	〃 12―37
〃	米林　美幸	〃 15―44
巴町	金子　康博	笠市町2―16
〃	西村　健一	〃 2―12
〃	室谷　桂子	〃 5―29
〃	田島　美子	〃 5―32
象眼町上	長田　順子	〃 6―42
〃	南保　明美	〃 6―43
象眼町下	東　和香代	〃 6―30
笠市町	藤田　洋子	〃 4―25
〃	大島　英司	〃 10―3

町会名	氏名	町名
古餌指町	小笠　昌秋	笠市町15―6
〃	中川　秀一	〃 16―16
〃	吉森　義高	〃 16―6
五宝町上	北　一茂	瓢箪町1―7
〃	諸橋　恭子	〃 1―13
五宝町下	大橋　和代	笠市町11―15
塩屋町上	表　佳代子	瓢箪町16―10
塩屋町中	米倉　央記	〃 16―19
〃	宮岸　昌代	〃 16―8
〃	横川　佳代	〃 15―5
塩屋町下	盛永　立子	〃 5―30
〃	中田　和子	〃 19―7
岩根町東	斉田　陽子	彦三町1-9-31
〃	中道　義弘	〃　〃
〃	西田　陽一	瓢箪町25―15
〃	浜田　雅子	〃 14―23
岩根町西	川　伸浩	〃 12―5
〃	砺波　昭彦	〃 12―16
〃	佐部裕希子	〃 13―4
〃	吉田　一代	〃 14―17
〃	福田　陽子	〃 12―40
〃	法邑　禎子	〃 12―14
岩根町中	福岡　操	〃 25―33
〃	野畑　香子	〃 13―5
岩根町下一	冨士登慎一	〃 7―18
〃	坂井　充禎	〃 7―17
〃	堀　友子	〃 18―1
〃	河上　裕美	〃 17―18
あげば会	中西　有里	笠市町13―3
校下外	樋口　貴子	粟ヶ崎町3丁目169番地
〃	今村　美保	昌永町15―67
〃	越野利代子	横川町1-23-22
〃	村田　直美	直江町へ43―2
〃	中島　郁代	千田町ロ36―7
〃	高桑　洋子	中村町24―8

新春の主な行事

〈**新年互礼会**〉 3日(日)午前11時文化会館ホール。〈**消防分団出初式**〉 3日午前10時から小学校々庭で放水、はしご登り。〈**歩こう会**〉 10日(日)午前9時集合、安江神社初詣で。新年会。会費千円（7日〆切）〈**旗源平大会**〉 少連主催10日(日)午前9時から文化会館ホール。町会単位で1組5人。申込み〆切りは7日までに。〈**かるた大会**〉 児童館主催で17日(日)午前10時から文化会館。〈**しし舞**〉17日(日)正午から文化会館で初練習後、父兄役員合同の新年会をひらく。

市民バド大会に準優勝

第7回金沢市民バドミントン大会が12月6日金沢市総合体育館で67チームが参加して開かれ、瓢箪公民館チームは健闘して決勝戦まで進出。千坂公民館Bチームに惜しくも2—0で敗れ優勝を逸した。

瓢箪チームは、尾山、藤、村上(女)、酒井(女)、奥村(女)、梅木、舟橋選手の新鋭若手の編成。予選リーグを長田町、城南Aにいずれも3—0で勝ち決勝トーナメントへ進出。

決勝トーナメントでは、2回戦に押野Aを2—0、準々決勝で額Aを2—1、準決勝で味噌蔵Bを2—0で破ったが、優勝戦で千坂Bに2—0で敗れ2位となった。

◈ 笠市町が栄冠を奪回

今年度最後の校下下期ゲートボール大会は11月15日(日)午前9時から10チーム56選手が参加して熱戦を展開、笠市町が町連、公民館を相次いで逆転に破り、前々回に続いて優勝の栄冠を握った。次勝公民館、三位町連チーム。

当日早朝雨で心配された天気も、日中絶好の暖かい晴天となり、各チームとも大張り切り。試合は前回優勝の彦三町が町連に逆転敗けのほか母親クラブ、公民館の健闘が目立った。優勝の笠市チームは水落監督、和布浦、岡部、保科、酒井選手の陣容だった。

〈**予選リーグ**〉（Aブロック）瓢箪19—9児童館　公民館12—11ほくしんB　母親ク21—11児童館　瓢箪15—11ほくしんB　母親ク15—8公民館（Bブロック）笠市町12—7ハイカラーズ　町連18—7ほくしんA　彦三町11—9ハイカラーズ　笠市町11—8町連　彦三町22—14ほくしんA　A、Bブロックから上位各3チーム決勝へ

〈**決勝トーナメント**〉（1回戦）町連13—12彦三町　公民館20—13瓢箪（準決勝）笠市町10—8町連　公民館16—8母親ク（3位決定戦）町連20—9母親ク（優勝戦）笠市町19—11公民館

◈ 運動会、チャリティーバザー決算

瓢箪町公民館運営審議会は、11月24日午後7時半から開き、9月20日行なわれた校下運動会と11月1日の文化祭チャリティーバザーの決算を審議し、剰余金の処分を決めた。

◎運動会

＜収　入＞	
繰越金	92.035
広告料	360,000
町連助成金	200.000
団体寄付金	79,000
個人寄付金	48,000
雑収入	3,720
計	782,755
＜支　出＞	
賞品・景品代	347,746
競技用品代	26,326
プログラム代	63,000
役員昼食代	27,820
報償費	72,820
事務費	6,590
計	544,302

差引き残高 238,453円を次の通り処分した。
繰越金98,453円公民館委員研修90,000円
体育関係強化費50,000円

◎ チャリティバザー

売上金 149,800円に浄財 812円計 150,612円。これを婦人会活動費に30,000円、NI「海外たすけあい」に20,000円 共同募金として 100,612円を寄付した。

◈ バドミントン大会 河上君ら優勝

校下恒例のバドミントン大会は、11月27日(日)午前10時から小学校体育館で開催したが、参加者が少なく、小学生は男子女子別にリーグ戦、一般は男女混合でA、B、C、Dグループにわけ対戦した。成績つぎの通り。

〈**小学生の部**〉（男子）①河上②法邑③川④原⑤田村⑥荒木（女子）①熊田②北③村井④前田⑤所村⑥安江

〈**一般の部**〉①4勝2敗 A(東、小原、大村、堀(女)) ②2勝2敗 D(舟橋、石丸、中崎、水落) ②同C（堀、宮坂、原、加沢(女)）④1勝3敗 B(若林、中崎(女)、田村(女)、村上(女))

昭和63年２月
２月号
№189
公民館だより
ひょうたん
発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町２丁目10－５
TEL　21－1476番

成人式にタイムカプセル公開

８年前の録音テープに歓喜

８年前テープに吹きこんだ“はたちの夢”を聞きながら、なごやかな祝賀パーティー

新成人おめでとう――１月15日の成人式で各方面から祝辞と激励の数々を受けたことしの成人たちは、８年前の小学校卒業時に録音したカセットテープを再生して楽しんだ。

このタイムカプセルを計画したのは当時担任だった石井芳美先生。20歳になったとき自分はどうしているだろうか――をテーマに思い思いの夢をのべたもので、「金大に進学しています」「結婚して子供１人ができています」など８年前の少年少女らしい声と夢を懐しげに聞き入っていた。

石井先生の話では、このテープは瓢箪町小学校中庭に埋めていたが、４年前夕日寺小学校へ転任の際、掘りだして先生が保管していたもので、当時の夢が現実として実現しているものもかなりあります――とのこと。このテープを聞くのが楽しみで県外・校下外から出席した者も多く、例年より男女とも出席率がよく大成功だった。

出席したのは男32人中25人(78%)、女43人中38人(88%)で平均84%。例年の70%台を大きく上回った。

なお、恒例の式では三悪追放の宣言文を決議した。

〈宣言文〉

私たちは、きょうの栄ある成人式を契機に、新社会人として現代社会の重要課題である『交通安全』『青少年の非行防止』『明正選挙』の３大目標に新しい情熱と若い力を結集して取り組むことを誓います。

1. 人命尊重の理念の下、交通ルールと運転マナーを遵守し、安全・快適な交通社会の実現に先駆的な役割を果たすことを誓います。
1. 私たちは、社会を構成する一人として、ともに次代を担う少年のために明るく、ふれ合いのある、より良い地域づくり、環境づくりを推進する。
1. 私たち新有権者は、日常の暮しを通して政治を考え、買収、供応等の不正行為を断固として排除し、明るい選挙の実現を追及する。

成人式参加者一同

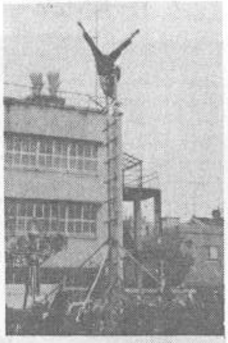
歩こう会、２月７日(日)あさ７時長田町方面へ

新年の息災を願って出初式

ことし初の学校運動場で

瓢簞町校下の消防分団出初式は、1月3日午前10時から小学校運動場で行なわれ、勇壮な裸放水とはしご登りが披露された。(写真は運動場での出初式)

例年1月6日の市全体の出初式終了後、校下有志の家前ではしご登りが行なわれていたが、町廻り厳禁となったため初の試みとして学校でまとめて実施したもの。



ポンプ車2台が、プールの水を放水、寒風をついて裸の団員らが元気にまといを振りながら二本のホースで放水、室崎、的場団員の果敢美麗なはしご登りを宙高く披露、校下一年の無事息災を祈った。

◈ 歳末助けあい募金41万円

民生児童委員協議会が昨年末校下の助けあい募金を行ったが、総額41万600円に達し、つぎの通り配分した。

•生活保護世帯(20世帯)67,000円•準生活保護世帯(5世帯)55,000円•準生活保護1人暮し老人(5人)25,000円•準生活保護ねたきり長期入院者(4人)20,000円•居宅ねたきり看護者(10人)30,000円•教育扶助生徒(23人)115,000円•決算書印刷代7,000円•社会福祉協議会へ91,600円。

◈ 旗源平、彦三7番丁Aが優勝

少年連盟主催の新年恒例旗源平大会は、1月10日(日)午前10時から20チーム100余人が参加して開かれ、彦三7番丁Aチームが優勝した。2位彦三5番丁B、3位彦三3番丁Bチーム。成績つぎの通り。

彦三6A
彦三6B
彦三3C
彦三7A
岩根下B
彦三5A
彦三3B
彦三7B
五宝上B
塩屋上B

彦三7A

五宝上B
塩屋中A
北親会A
北親会B
塩屋上A
彦三5B
岩根下A
北親会C
岩根下C
彦三3A

◈ 卓球大会、山本君ら入賞

児童館主催の卓球大会は、11月22日(日)午前10時から児童館で行なわれ、4年生以上の子供たちと父兄役員ら40余人が参加した。

学年別と父兄一般の部で熱戦の結果、の皆さんが入賞した。

〈4年生〉①山本晃司②織部仁③端谷博人
〈5年生〉①山本泰広②河上和之③法邑賢一
〈6年生〉①織部信次②松井伯夫③川崎智博
〈一般〉①松島昭②鍋島昌史③若林繁

◈ 校下の発展を祈り互礼会

新年恒例の校下互礼会は、1月3日(日)午前11時から文化会館で各種団体長、町会長ら41人が出席して開かれた。

君が代、市民憲章唱和のあと、中谷町連会長が主催者を代表して「昇竜の年にあやかって校下の益々の発展を図ろう」とあいさつ。

祝宴に入って三谷校長、村井(公民館)松本(社福)涌波(民協)清水(老人憩いの家)三森(南部鶴亀会)小原(児童館)福岡(交通推進隊)吉村(少連)各代表らがそれぞれ新年の抱負をのべ正午すぎ閉会した。

◈ 北村さんら33名に日赤特別社員章

日赤募金が累計1万円に達した者に贈られる日赤特別社員章(銀バッジ、表札、証書)がこのほどつぎの33名に贈られた。

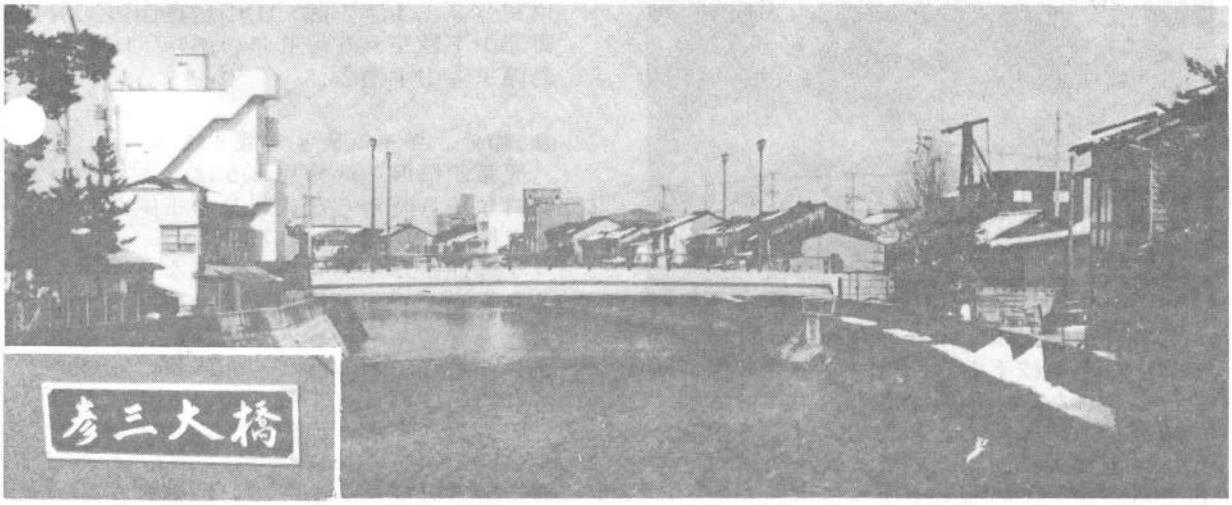
北村修吉(母衣町)横山富子(北親会)米井美相子(彦三2上)能川良一(同)松田研一郎(同)佃健三(同)畑山福山(彦三2下)越村勇(同)寺崎富三郎(彦三4)西岡長蔵(同)兼松謙三(彦三5上)余野松三(同中)木村丹二(彦三6)伊藤亮治(彦三7)徳野弥吉(同)相川徳雄(同)野上善信(象眼上)柿原信一(同)酒井徳久(同)荒井康夫(同)種本弘久(同)勝尾秀(同)清水菊枝(同下)松下恭一(同)荒木一雄(笠市町)南部郁枝(堀川間ノ町)磯野洋明(五宝下)舘武雄(同)山田大誓(五宝中1)木村藤次郎(塩屋中)山本幸雄(岩根下一)泉由雄(同)山本美代子(あげば)

"立志のつどい"は2月14日(日)午前10時から

昭和63年3月
3月号
No.190
公民館だより
ひょうたん
発行　瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10－5
TEL　21－1476番

「彦三大橋」27日に落成開通式

オフィス街進出で新波紋も



都市計画道路森山一有松線の「彦三大橋」がいよいよ完成し、この3月27日落成開通式を行なう。森山・浅野・馬場・瓢箪四校下では、この開通を祝って三世代夫婦の渡り初めをはじめ鼓笛隊、しし舞の出演、パーティなどが計画されている。（**写真**は完成した彦三橋）

この橋は、小橋に代わる巾20㍍、長さ34,80㍍の橋脚のない新鋭橋で、彦三大通り、武蔵ヶ辻、香林坊を結ぶ新たな幹線道路となり、校下にとって新名所になるほか、金沢市の交通渋滞の解消と活性化に役立つこと請合い。半面ここ数年校下に与えた影響と将来への功罪は手放しでは喜べないものがある。

一番大きかったのは、周囲の関係町会が世帯数の激減を招いた。いまから20年前の42年には校下世帯数2,199あったのが現在1,617世帯と約600世帯減った。これはドーナツ化現象という都市開発に原因が大きいが、なかでもこの橋に関係する岩根東、西、中の3町会の移り変りが目立つ。

ここ7年間だけの世帯数の変化をみると

	昭和42年	55年	58年	60年	62年
岩根町東部	71	50	40	37	35
同　中部	41	30	18	16	13
同　西部	70	56	49	45	45

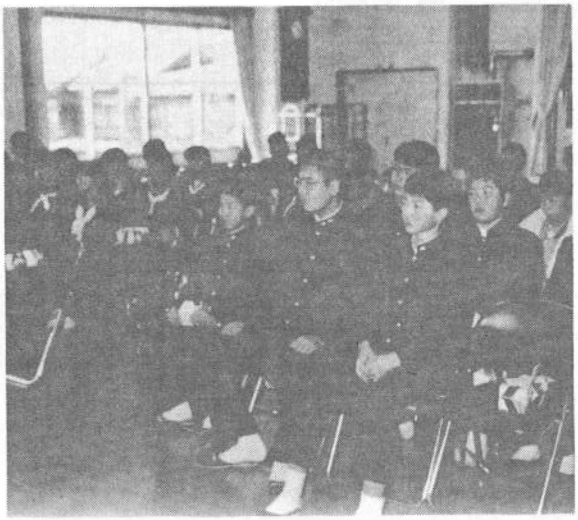
岩根町西の35.7%減に対し岩根東が50.7%減岩根中に至っては68.3%の激減となり、車の増加につれ回覧板等の配付にも危険を伴うなど町会再編成の声まで出かねない因をつくっている。

また、彦三大通りの地価を押し上げ、大手資本による不動産売買がすでにたけなわで、保険会社、建設会社等の進出が目立ってきている。武蔵ヶ辻を含めて地域振興をはかろうとする「彦三大通りを考える会」が昨年夏発足して対策を協議しており､「彦三大橋」の命名にもこれら地元の力が効を奏したようだが、金沢税務署・のぞみ苑の移転も取りざたされており、新しいオフィス街地区として注目されそうだ。

勢い住宅が逐次買収されて校下の世帯数減を招き砂漠化が進む。一方商店街の活性策も押し進められることになるだろうが、こうしたオフィス群と商店街そして一般住宅の三者融合の新しい校下づくりという難問に遅かれ早かれぶつかりそうだ。

「人生の目標」立てよ

立志のつどいに激励



武家時代の元服の式にちなんで2月14日(日)午前10時から校下の立志のつどいが文化会館で行なわれた。（写真は立志のつどい会場）

参加したのは、ことし満14歳になる中学2年生の男15人、女14人の計29人。欠席がやや目立ったが、どの顔も中学3年に間もなくなる大人びた成長ぶりだった。

吉村少連育成委員長のお祝いと記念品（コーヒーカップ）贈呈があり、三谷小学校長、座主小将町中学教頭がそれぞれ大事な人生の節目であることを強調して激励した。記念講演にたった元中学校長、前金沢市体育協会事務局長道下喜利先生は、75歳の人生体験をふり返りながら、私が丁度14歳のとき先生になろうと決心して夜遅くまで勉強していた。彦三大火があった年である…と昔を懐しみながら、人生に目標を立て努力することの大切さを力説した。

◈ 歩こう会、13日に兼六園梅林へ

ひさご歩こう会3月の行事は、3月13日(日)午前7時文化会館前に集合、兼六園の梅林を散策、紅梅白梅の満開を楽しむ。

◈ 仲よし ミニバスケットに善戦

第19回金沢市スポーツ少年団のミニバスケットボール大会が、2月7日市総合体育館で男子26チーム、女子18チームが参加して開かれたが、瓢箪から参加の仲よしが健闘し、男子2位、女子3位の好成績をおさめた。

男子は優勝戦まで勝ち進み、材木に24—17で敗れ2位、女子は準決勝で伏見台に15—2で敗れ3位となった。

◈ 新春かるた大会に歓声

児童館主催の新春かるた大会は、1月17日(日)午前10時から約70人が参加して行われた。

1・2年生は「かがのとかるた」3年生以上は百人一首のとり合いで、テレビゲームとひと味違う面白さに賑やかな歓声が響き渡った。

〈1・2年の部〉①山嶋みさ②川崎美穂③初道望〈3・4年の部〉①中村真由美②沢井静香③山下敦子〈5・6年の部〉①岡田綾②鍋島淳子③山本泰広

◈ 節分、キャンディで豆まき

児童館恒例の節分豆まきは、1日早い2月2日午後3時から70人余りの子供たちが集まって賑やかに行なわれた。

小原館長が年男になって豆ならぬキャンディを大声でまき子供たちは大喜び、このあとゲームを楽しみ、袋入りの豆、キャンディを平等にわけて貰った。

なお、3月2日午後3時からおひな祭りゲーム大会があるが、先着50人で〆切り。

◈〝朝食献立コンクール〟に応募を

健康な一日は朝食から一をスローガンに健康を守る市民の会では、広く「わが家の朝食献立」を募集している。

応募要領は、1人2点以内で、用紙は公民館の窓口にあります。〆切は3月20日。書類審査と実物審査の結果、優秀作品には4月14日の第9回健康づくりフェア会場（大手総合健康センター）で表彰され、クッキングブックに掲載されることになっている。

◈ 元気よくしし舞の初げいこ

しし舞保存会は、1月17日(日)午前11時から新年度の実行委員会の役員会を開き、各役割分担をきめたほか、正午から小中学生の棒ふりの初げいこを行なった。

昨年末から頭ふりの増加を呼びかけた甲斐があってこの日2人の青年が参加し、早速猛げいこに取り組んだほか、棒ふりも1人が参加を申出、まずまずのスタートだった。

子供たちは、ひと通り練習したあと、お母さんたちが作ってくれたお待ちかねの「ぜんざい」に舌つづみを打ち、福引きなどのおみやげを貰って大喜びだった。毎月第一金曜日午後7時から練習を続ける。新入会員歓迎。